



行政事務

2021 年度新規採用職員インタビュー

「復興へ向けた保健・医療・福祉の推進」

所属

相双保健福祉事務所

健康福祉部 保健福祉課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 私は保健福祉課の障がい者支援チームに所属しています。

仕事の内容としては、障がい者の方が利用する事業所の指定や、障がい者支援事業の補助金業務などを担当しています。復興期にある相双地域で社会基盤の整備等に関われていることに、誇りとやりがいを感じています。また、現在は新型コロナウイルス感染症に関する業務も行っており、業務の多様さを実感しています。

Q. 県職員を志望した理由を教えてください。

A. 学生時代のアルバイトを通じて、自分がまだ知らない県内の魅力を知りたいと思い県職員を目指しました。県内各地に異動できることも県職員の魅力の一つだと感じています。



↑ 障害者支援施設の情報入力作業



Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか？

A. 異動や担当業務の変更がある中で、自分の得手不得手に関わらず、どこへ行っても適材になれるような職員を目指しています。

今は、「この人になら任せても大丈夫」と思ってもらえるような安定感と安心感のある一人前の職員になれるよう、日々の仕事に向き合っています。



Q. 職場の雰囲気はどのような感じですか？

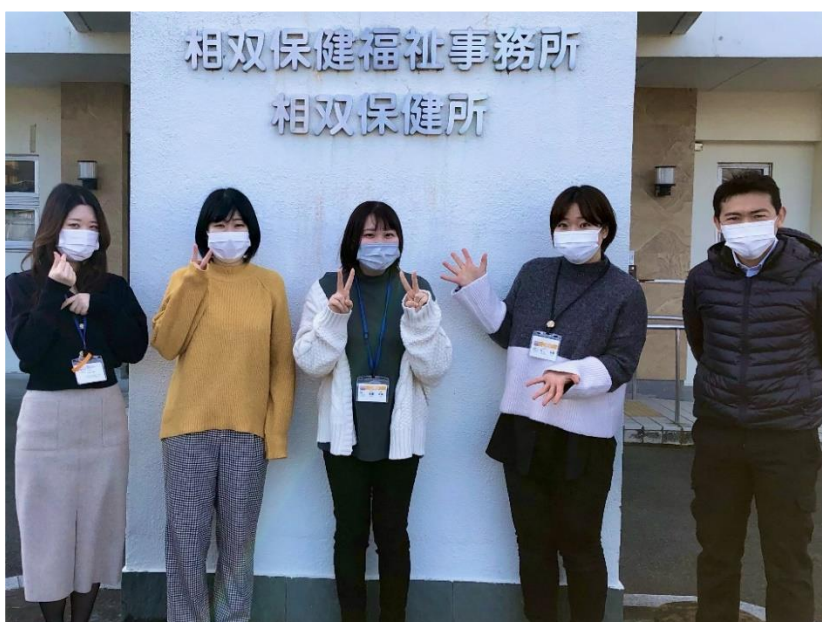
A. とても明るい職場です。和やかな雰囲気なので、困りごとや不安なことも相談しやすく、また、経験のない1年目の自分でも意見を出すことができます。親しみやすい方ばかりなので、休憩時には、自分の趣味のことやテレビの話など他愛ない会話もしています。

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「障がい福祉」「生まれも育ちも福島」「お店巡り」「ライブ・フェス」「神獣ベコたち」

Q. 「お店巡り」について教えてください。

A. 休日は相双地域のお店巡りをしています。地元の方と仕事をさせていただくことも多いので、オススメのお店を教えてもらうことが密かな楽しみです。相双地域にいる間に管内全てのお店に行けることを楽しみにしています！



↑ 障がい者支援チームの職員と事務所の前で